

## レジオネラ属菌の検査結果（令和6年度）

---

レジオネラ属菌によって引き起こされるレジオネラ症は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」で四類感染症に分類されています。

レジオネラ症は肺炎型とポンティアック熱型が主要な病型で、肺炎型では死亡例も報告されています。一方、ポンティアック熱型はインフルエンザに似た熱性疾患で自然治癒するため発見されづらく、報告例が少ない傾向にあります。

レジオネラ属菌は湖沼の水や土の中に生息する常在菌で、土ぼこりなどで運ばれて噴水などの水景設備や冷却塔、浴場施設などの人工的な水環境下でアメーバを介して増殖します。このレジオネラ属菌によって汚染された水のエアロゾルを人が吸い込んだり、汚染水が誤って気道に入ったりすると感染する可能性があります。

レジオネラ症の発生・拡大を防止するには、原因施設を特定し、レジオネラ属菌を殺菌消毒することが重要です。患者の行動調査で利用施設を聞き取り、施設の水や水回りのふきとり検体を採取して、レジオネラ属菌検査を行って感染源を特定します。レジオネラ属菌が検出された施設においては、保健所が消毒等の衛生対策について指導を実施しています。

令和6年度は、延べ44施設、221検体（水試料107、ふきとり試料114）のレジオネラ属菌検査を行いました。検査はLAMP法を用いた遺伝子検査と培養法の2種類を行いました。

検査を実施した対象施設数は、患者自宅20、高齢者福祉施設15、公衆浴場2、医療機関4、寮1、事業所2でした。

検査結果はLAMP法で遺伝子が検出されたのは、延べ21施設、42検体（水試料26、ふきとり試料16）で、培養法で菌が検出されたのは11施設、19検体（水試料13、ふきとり試料6）でした。培養法で菌が検出された19検体のうち17検体がLAMP法陽性、2検体がLAMP法陰性でした。LAMP法または培養法で菌が検出された検体の施設と検体の内訳、菌同定結果は表に示しました。

表 レジオネラ属菌が検出された事例の検出結果

No.	患者 検査結果	施設種類	検体名	LAMP法	培養法*1
1	当所での検査 未実施	患者自宅	浴槽水	+	5,600cfu/100mL ( <i>Legionella</i> 属菌)
2	培養陰性	高齢者 福祉施設	浴槽水	+	10cfu/100mL ( <i>L. pneumophila</i> SG1)
3	<i>L. pneumophila</i> SG1	患者自宅	シャワーヘッドふきとり	+	(-)
			シャワー水A	+	(-)
			シャワー水B	+	(-)
4	当所での検査 未実施	患者自宅	浴槽水(追いだき前)	+	1,600cfu/100mL ( <i>L. pneumophila</i> SG1)
			浴槽水(追いだき後)	+	3,000cfu/100mL ( <i>L. pneumophila</i> SG1)
			浴槽喫水面ふきとり	+	+ ( <i>L. pneumophila</i> SG1)
			桶ふきとり	+	(-)
			浴槽吐水口ふきとり	+	+ ( <i>L. pneumophila</i> SG1)
5	*2	事業所	シャワー水A	+	10cfu/100mL ( <i>L. pneumophila</i> SG5)
			シャワー水B	+	(-)
6	*2	事業所	シャワー水	+	(-)
7	<i>L. pneumophila</i> SG1	患者自宅	浴槽水	+	(-)
			浴槽喫水面ふきとり	+	(-)
			浴槽追いだき口ふきとり	+	(-)
8	培養陰性	高齢者 福祉施設	浴槽水	+	(-)
9	培養陰性	患者自宅	浴槽水	(-)	10cfu/100mL ( <i>L. maceachernii</i> )
10	他都市からの 調査依頼	公衆浴場	浴槽水A	+	(-)
			浴槽水B	+	(-)
			浴槽水C	+	(-)
11	培養陰性	患者自宅	シャワー水	+	60cfu/100mL ( <i>L. pneumophila</i> SG3)
			シャワーヘッド粗目側ふきとり	+	(-)
			シャワーヘッド分解上ふきとり	+	(-)
			浴槽水	+	(-)
			浴槽追いだき口ふきとり	+	+ ( <i>L. pneumophila</i> SG3)
12	培養陰性	患者自宅	浴槽水	+	10cfu/100mL ( <i>L. hackeliae</i> )
13	当所での検査 未実施	寮	風呂カラン水	+	10cfu/100mL ( <i>L. pneumophila</i> SG1)
			シャワーヘッドふきとり	+	+ ( <i>L. pneumophila</i> SG9)
			浴槽水	(-)	500cfu/100mL ( <i>L. pneumophila</i> SG1)
			給湯水	+	(-)
			浴槽追いだき口ふきとり	+	+ ( <i>L. pneumophila</i> SG1)

表(続き) レジオネラ属菌が検出された事例の検出結果

No.	患者 検査結果	施設種類	検体名	LAMP法	培養法*1
14	当所での検査 未実施	高齢者 福祉施設	洗面給湯水	+	(-)
15	当所での検査 未実施	患者自宅	浴槽追いだき口ふきとり 浴槽水	+	+ ( <i>L. pneumophila</i> SG5) 40cfu/100mL ( <i>L. pneumophila</i> SG5)
16	他都市からの 調査依頼	高齢者 福祉施設	シャワーヘッドふきとり	+	(-)
17	<i>L. pneumophila</i> SG1	患者自宅	浴槽水	+	30cfu/100mL ( <i>L. pneumophila</i> SG5)
18	当所での検査 未実施	医療機関	シャワーヘッドふきとり 冷却塔水A 冷却塔水B	+	(-) (-) (-)
19	培養陰性	患者自宅	浴槽喫水面ふきとり	+	(-)
20	当所での検査 未実施	患者自宅	浴槽内壁ふきとり	+	(-)
21	他都市からの 調査依頼	公衆浴場	浴槽水	+	20cfu/100mL ( <i>L. pneumophila</i> SG1、SG10)
22	当所での検査 未実施	高齢者 福祉施設	シャワー水	+	(-)

\*1 培養法:水検体は陽性の場合100mL当たりの菌数(cfu: colony forming unit) cfu/100mLで表記し、ふきとり検体は + で表記する。陽性検体は( )で同定した菌種、血清型を示した。

\*2 自主検査でレジオネラ属菌が検出された施設の環境調査

【 微生物検査研究課 細菌担当 】